

視点

大学病院である特定機能病院の要件変更

厚労省が、特定機能病院等検討会の特定機能病院のあり方のとりまとめを踏まえ、新たな承認要件の具体案を示した。新たな承認要件では医療・教育・研究・医療安全の基準を見直し、医師派遣の基準も加わる。「基礎的基準」と「発展的基準」の2段階構成となり、大学病院本院である特定機能病院の中で、診療報酬などの評価で差が生じることになる見込みだ。

特定機能病院の基準が緩く申請すれば基準を満たす病院が一定数ある状況になっていたことが承認要件見直しの議論のきっかけだが、新たな地域医療構想や医師偏在対策で大学病院本院に期待する役割が拡大している事情もある。新たな承認要件は、大学病院本院に求められる機能を基本に再整理されることになった。

その中で、「医師派遣」が項目に追加されたことが注目される。大都市の大病院と比べ高度な医療の点では劣る分野があっても、地方の大学病院本院には地域医療を守る役割がある。大学病院本院に残る医師が減少している状況ではあるが、医師派遣の責任をもってもらうことは、医療資源が乏しい地域の医療崩壊防止につながる。医療安全についても、決して起こしてはならないネバイベントと言われる医療事故が確実に報告され、再発防止を求める体制に向かう基準が設定される。地域の医療安全の底上げの役割もある。

一方で大学病院本院の約7割が赤字との経営状況もある。これだけの役割を期待する以上、経営を安定させる下支えの対応は不可欠だろう。厚労省と文科省の医療・教育・研究における補助金調整や令和8年度診療報酬改定での評価のメリハリの議論も今後始まる。

社会保険旬報

目次

No.2977 2025年10月1日

視点

大学病院である特定機能病院の要件変更 3

座標

今年度中の賃金・物価対応を要望
生成AI活用で医師の業務時間を軽減 4
美容医療の適正な提供体制確保で通知
医師の働き方改革の状況調査 5

動向

包括期の入院医療急性期病棟の指標
拠点機能など議論
—中医協・入院医療等分科会 6

論評

これからの基礎年金を考える（上）
—連結年金への移行
喜多村悦史 10

霞が関と現場の間で⑧

『透析を止めた日』を読んで
中村秀一 15

潮流

医療部会が改定基本方針の検討開始 16
地域医療構想等検討会で医師偏在議論 .. 18
医師派遣など基礎的基準案の詳細示す .. 20
5年度の市町村国保等の財政状況 22
医療保険部会が改革に向けた議論開始 .. 24
高額療養費制度専門委員会が議論 26
日医が診療所の経営調査を発表 27
薬価専門部会が業界からヒアリング 28

NEWS

都医が「女性、子どもを守る」
産後うつなどを報告 29

資料

重症度、医療・看護必要度 34

療養の給付の取扱いについて 39

年金の動き 41

編集室・ワードカプセル 42